事例 13

発 生 日	平成 23 年3月 21 日頃
発生場所	広島県　尾道市
種　　類	不審な電話（還付金詐欺）
事件の概要	1人暮らしの女性（80 歳）宅に「医療費の還付が4万円あるので，口座番号を教えてほしい。」と男性（所属や名前は名乗らなかった。）から電話があった。 「〇〇銀行ならある。」と答えると，「××銀行の口座はないか。」と聞かれ，「××銀行はない。」と答えた。すると「申請書を送るので，手続きをしてほしい。」と言われ，電話を切られた。 広域連合から「医療費のお知らせ」が届いたので，このことかと思い，広域連合に電話したため，本件が発覚した。 なお，広域連合で確認したところ，この被保険者に関する医療費の還付金等は存在しなかった。

事例 12

発 生 日	平成 23 年3月9日
発生場所	広島県　東広島市
種　　類	不審な電話（還付金詐欺）
事件の概要	正午から午後１時にかけ，「旧社会保険庁の職員」と名乗る男性からの不審な電話が2件あった。 いずれも 70 歳代の女性宅で，「医療費の還付があるので口座番号を教えてほしい。」あるいは，「キャッシュカードを持って福山駅に来てください。」と言ってきたという。 いずれのケースも，不審に思った女性が電話を切り，警察署などに通報して被害はなかった。

事例 11

発 生 日	平成 23 年 3 月 8 日
発生場所	広島県　尾道市
種　　類	不審な電話（還付金詐欺）
事件の概要	午後4時半から5時頃，女性被保険者（90 歳）宅に，「保険課の者」と名乗る男性（声の感じでは 30 代くらい）から「夏頃に水色の封筒を送付したが，内容は読んだか。あなたに保険関係の還付がある。銀行口座は持っているか。」と電話があった。 被保険者が口座開設している金融機関名を答えると，「キャッシュカードは持っているか。」と聞かれたので不審に思い，電話を切ったとのこと。 その後，本人が相談のために市役所の担当課を訪れて，本件が発覚した。 なお，後期高齢者医療，介護保険においても，この被保険者に該当するような還付金はなかった。

事例 10

発 生 日	平成 23 年 3 月 8 日
発生場所	広島県　海田町
種　　類	不審な電話（年金詐欺）
事件の概要	午後3時半頃，１人暮らしの女性被保険者（80 歳）宅に，「社会保険庁の職員のオカモト」と名乗る男性から「去年の２月に障害者に関わる年金支給の改正があり，今年から毎年 48,600 円の支給があるので，銀行の口座を教えてほしい。」との電話があった。（本人は障害者手帳の申請はしていないため手帳は所持していないが，障害がある。） 「関係の書類も既に送付している。」と言われたので，「届いていない。」と言ったが，手元に通帳を用意するよう言われ，生年月日，住所，通帳とカードの色を聞かれたので，口座番号以外を答えた。 また，銀行名も答えたところ，「銀行に照会して間違いなければ振込みするので，口座番号を教えてほしい。」と言われたが，答えないでいると，銀行を利用した直近の日を聞かれ，答えると，残高の桁数を教えるよう言われた。桁数を教えたところ，右端の数字を教えるよう言われ，答えると次は左端の数字を教えるよう言われたので，不審に思った被保険者は答えずに電話を切った。 日本年金機構に電話して確かめたところ，そのような職員はおらず，支給があるという事実もなかった。役場に相談するよう勧められたため，役場に電話相談したことにより，本件が発覚した。 なお，役場で確認したところ，この被保険者に該当する支給等は存在しなかった。

事例 9

発 生 日	平成 23 年 3 月 8 日
発生場所	広島県　海田町
種　　類	不審な電話（還付金詐欺）
事件の概要	午後3時半頃，１人暮らしの女性被保険者（86 歳）宅に，「厚生労働省の職員（名前は言ったが覚えていない。）」と名乗る男性から「医療費の還付（具体的な金額は言っていない。）があり，３月中に振り込むので，口座番号を教えてほしい。」との電話があった。 被保険者は，通帳は口座を開設している金融機関に預けてあり，口座番号がわからないことや，被爆者健康手帳を持っているので，病院で医療費は払っていないことを言うと，電話は切られたとのこと。 役場の担当課に連絡があり，本件が発覚した。 なお，役場で確認したところ，この被保険者に該当する還付金等は存在しなかった。